## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりま すので、お知らせいたします。

Deep learning 法を用いた ICU 入室患者における術後せん妄予測モデ 研究課題名: ルの検討

## 研究の目的

術後せん妄は術後の認知機能のみならず、在院日数や死亡率に影響する重要な合併症 です。現在、術後せん妄を予測する方法の中で確定的なものはありません。予定手術患者 様の既往歴や術前・集中治療室入室時の血液検査の結果等から Deep learning を用いて術 後せん妄予測モデルを開発し、術後せん妄の予防法の確立やよりよい術後の集中治療に 繋げていきたいと考えています。患者様の既往歴・集中治療室入室時の血液検査等から Deep learning を用いて術後せん妄予測モデルを算出し、モデルの精度について検証を行 うことを目的とします。

**研究実施期間:** 2023 年 2 月 17 日~2027 年 12 月 31 日

対象となる方: 2015年1月1日~2022年12月31日の期間に弘前大学医学部附属病

院で術後集中治療室に入室し治療を受けた患者様

## 利用させていただきたい試料・情報について

## (他機関に提供する場合,提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

年齢や身長、体重、既往歴などに加えて術前や集中治療室入室時の血液検査、手術中の 出血や輸液量、輸血量等のデータ等から Deep learning を用いて術後せん妄予測モデルを 算出します。全く異なる患者様のグループでそれらのモデルが妥当であるか精度の検証 を行います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削 除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については, 学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが, その内容から対 象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則と してお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同 意いただけない患者さん/その代理人の方は,以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除 外します。 ただし, 連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は, 該当者のデータの みを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先 │ 弘前大学医学部附属病院集中治療部 木下 裕貴 0172-39-5113